

テーマ 日本FP協会の徹底活用法

FP資格を取得した後、どのように資格を有効に活かしていくことができるか悩んでいる方へ

日本FP協会の活動を上手に活用することにより【知識+人脈】が得られます！！

ポイント ⇒ 資格取得はゴールではなく、新たなスタートです！！

1. 2級FP技能士とAFPとの違いって何？

ポイント⇒2級FP技能士【国家資格】要件+α（提案書等）=AFP【日本FP協会認定資格】

① 2級FP技能士【国家資格】

2級FP技能検定に合格と同時に取得でき、生涯有効になります。

② AFP【日本FP協会認定資格】

【2級FP技能検定に合格】 + 日本FP協会認定のAFP認定研修（TAC等の認定講座）の終了、かつ、日本FP協会に資格認定会員として入会することによりAFP資格のライセンスが授与されます。

（※AFP認定研修は、協会の認定教育機関が、一定の基準に従って開催。研修受講者は必要な課目・単位を履修しなければならないことになっております。⇒提案書の作成はその一つ。）

CFP®【国際ライセンス】受験資格について【参考】

CFP®【国際ライセンス】受験資格は、AFP登録者または協会が認めた大学院で、所定の単位を取得した者（※20歳未満は受験不可）

※TAC等の日本FP協会認定教育機関で受講され、提案書の作成提出など所定要件を満たし、2級FP技能検定に合格し、日本FP協会に登録手続きを行うと・・・

2級FP技能士（国家資格） + AFP（日本FP協会認定資格）

となり、CFP®【国際ライセンス】受験資格が得られます。

⇒ つまり、2級FP技能士取得だけでは、CFP®【国際ライセンス】の受験資格が得られないことになります。

2. AFP【日本FP協会認定資格】の活用法

1) 「提案書」の作成

「自分自身のキャッシュフロー表を作成してみたい。」「FPとしてお客様に提案書を作成し、提出したい。」こんな要望をよく聞きます。2級FP技能士のみ取得のケースは、提案書を一度も作成した経験がなくても、試験対策としての知識さえあれば合格できてしまうため、合格後、実際にFP2級レベルの知識はあっても、提案書の作成法などの方法論がわからないケースが多いのが実状のようです。AFPの場合、提案書の作成がカリキュラムの中に含まれているため、提案書作成の方法論を習得することができます。

【対策前（キャッシュフロー表）の見本：平成22年～平成28年】

年 号			平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
年 齢	只 野 克 典	夫	54	55	56	57	58	59	60
	只 野 彩 子	妻	52	53	54	55	56	57	58
	只 野 勇 輝	長男	26	27	28	29	30	31	32
	只 野 美奈子	長女	21	22	23	24	25	26	27
収 入	夫可処分所得		697	697	678	678	678	678	678
	公的年金（夫）								
	公的年金（妻）								
	退職金手取額								2,468
	満期保険金								
	個人年金								
	収 入 合 計		697	697	678	678	678	678	3,146
支 出	基 本 生 活 費	1 %	360	364	367	371	375	378	340
	住 宅 ロ ー ン		110	110	110	110	110	110	110
	固 定 資 産 税 等	1 %	30	30	31	31	31	32	32
	生損保・保険料等		55	55	55	55	55	55	55
	レジャー費	1 %	20	20	20	21	21	21	21
	マイカー費	1 %				247			
	結婚資金援助	1 %						263	
	海外旅行費用	1 %						105	
	住宅修繕費	1 %							
	教 育 費	1 %	125	126					
	支 出 合 計		700	705	583	835	592	964	558
年 間 収 支			－3	－8	95	－157	86	－286	2,588
年 運 用 利 益		1 %	－	10	10	11	10	11	8
貯 蓄 残 高			1,000	1,002	1,107	961	1,057	782	3,378

【対策前（キャッシュフロー表）の見本：平成38年～平成44年】

年 号			平成38年	平成39年	平成40年	平成41年	平成42年	平成43年	平成44年
年齢	只 野 克 典		70	71	72	73	74	75	76
	只 野 彩 子		68	69	70	71	72	73	74
	只 野 勇 輝		42	43	44	45	46	47	48
	只 野 美奈子		37	38	39	40	41	42	43
収入	夫可処分所得								
	公的年金（夫）		214	214	214	214	214	214	214
	公的年金（妻）		84	84	84	84	84	84	84
	退職金手取額								
	満期保険金								
	個人年金		50						
	収入合計		348	298	298	298	298	298	298
支出	基本生活費		328	332	335	338	342	345	349
	住宅ローン								
	固定資産税等		35	36	36	36	37	37	37
	生損保・保険料等		5	5	5	5	5	5	5
	レジャー費		59						
	マイカー費								
	結婚資金援助								
	海外旅行費用								
	住宅修繕費								
	教育費								
	支出合計		427	373	376	379	384	387	391
年間収支			-79	-75	-78	-81	-86	-89	-93
年運用利益			-2	-3	-4	-5	-5	-6	-7
貯蓄残高			-293	-371	-453	-539	-630	-725	-825

2) ブラッシュアップの必要性

FPの知識は、実務に基づいた生の知識が必要であるため、税制・社会保険制度等が改訂される可能性があることはもちろん、住宅ローンに関する知識や金融商品に関する知識、保険に関する知識等最新の情報を得ることが重要となります。従って、**資格を取得した後のブラッシュアップが非常に大切**となるのです。

AFP認定者には、2年毎に資格更新が義務付けられており、要件として所定の継続教育を充たす必要があります。AFP更新に必要な取得単位として**15単位等の要件**があります。一度、資格を取得すると、大抵の場合は、油断をしてしまい、ブラッシュアップの機会を失いがちですが、単位取得が資格更新の要件となっていることから、嫌でも学習する機会が与えられ、結果、FPとしての能力が保たれる仕組みとなっております。

ブラッシュアップと聞くと一度取得した資格なのに「面倒だ」と思う方がいるようですが、FPの知識は全て家計に役立つ知識なので、自分のこれからの人生に役立つ知識を習得できる機会（チャンス）を与えてくれていると考えればわかりやすいと思います。

「継続教育単位の取得方法」 【ブラッシュアップのチャンスの選択肢】

- ① 研修の受講
 - ・ 協会の認定教育機関が主催する「継続教育研修」
 - ・ 協会の認定教育機関が主催する「CFP®試験対策講座」
 - ・ 「FPジャーナル」継続教育テスト
 - ・ 協会本部が主催する「FPフェア」
 - ・ 協会ブロック・支部が主催する継続教育研修
 - ・ その他、協会が認める研修
- ② 執筆
- ③ 講師
- ④ 協会が承認した「スタディ・グループ (SG)」における勉強会

※上記を有効活用し、最新情報を取得しながら、人脈も広げ、前向きな人生を歩みましょう！！

【上記の有効活用法については後述】

3. **3級FP技能士**と**AFP**との違いって何？

① 履歴書の評価や実務能力

3級FP技能士

3級FP技能士は、FPの入り口、いわば入門資格（全てのものごとにおいて基本は大切であるといえるので、はじめてFPを学習する際に独学で学ぶ場合、誤った知識の習得やFPの知識を我流で習得する危険性もあります。）です。

家計に対する基本的な知識が習得できますが、就職や転職の際に履歴書に書いても評価されるかどうかは疑問です。また、実務として独立系FPのサポートができるかどうかも疑問です。

2級FP技能士 (AFP)

就職や転職、実務に役立てる場合、一般的に2級（AFP）が社会評価の基準なので、就職や転職・実務に役立てる場合、最終目標は2級（AFP）以上に設定することが必要となります。

また、実務として独立系FPのサポートができるようになります。

② 試験から捉える**3級**と**2級 (AFP)**の違い

1) 学科試験から捉える3級と2級の難易度の相違点

3級

○×式・3択式

2級 (AFP)

4択式

(⇒ 試験問題は学科試験と実技試験から構成されております。)

2) 試験問題から捉える3級と2級 (AFP) の知識レベルの違い

課 目	3級FP技能士	2級FP技能士 (AFP)
金融資産運用	外貨預金・株式・債券・投資信託等の基本や種類がわかる。	外貨預金・株式・債券・投資信託等の基本知識に基づいて家計で活用したり、実務で活用できるようになる。(※日本FP協会「資産設計提案業務 (実技)」では、外貨預金の計算問題や債券の利回り計算等も出題される)
リスク管理	生命保険商品や損害保険商品等の基本的な知識が身につく。	生命保険商品や損害保険商品等の基本的な知識に基づいて生命保険の保険証券の分析等ができるようになる。(※日本FP協会「資産設計提案業務 (実技)」では、生命保険の分析問題等も出題される)
不動産	不動産の税金の基礎や不動産に関する法律がある程度把握できる。	マイホーム購入時や保有時・売却時等かかる不動産の税金や知っておかなければトラブルになる不動産の実務知識、法律関係等幅広く習得できる。(※日本FP協会「資産設計提案業務 (実技)」では、不動産の広告の見方等も出題される)
タックス	主に所得税等の基本体系が習得できる。	所得税等の基本体系等の知識に基づいて、ある程度の実務や家計に必要な税金の計算ができるようになる。 (※日本FP協会「資産設計提案業務 (実技)」では、退職金の税額計算や所得控除の計算問題等が出題される)
ライフプランニングと資金計画	住宅ローンの基礎知識他、公的年金をはじめ社会保険制度の基礎知識が身につく。	住宅ローンの知識や公的年金をはじめ社会保険制度の知識に基づいて、実生活上の活用法を習得できるだけでなく、実務上ある程度アドバイスができるようになる。(※日本FP協会「資産設計提案業務 (実技)」では、比較的簡単な公的年金の計算や社会保険に関する語群選択問題等が出題される)
相続・事業承継	相続の基本や相続税の計算の仕組みが把握できる。	相続の体系がおおよそ理解できるとともにある程度計算がなる。 (※日本FP協会「資産設計提案業務 (実技)」では、相続税の課税価格の合計額の計算や遺産に関する基礎控除、宅地に関する相続税評価額の計算等が出題される)

(※ 上記は、あくまでイメージです。)

3級FP技能士はFPのまさに入口部分！！ FP世界の入口で終了するか？これからの長い人生の自己投資として先に一歩進むか？は各自の選択肢！！

4. 積極的に活用しましょう！！日本FP協会の支援活動

① 日本FP協会の活動 (～日本FP協会ホームページより～)

日本FP協会ホームページ (<http://www.jafp.or.jp/>)

1. ファイナンシャル・プランニングの啓発

新聞・雑誌などに、FPとは何か、FPがいかに有用であるかを啓発する記事や広告を掲載するなど、広報活動を行っています。

2. 生活者向け無料セミナーの開催

日本FP協会では、一般の方々に向け、全国各地でFPや各分野の専門家による、セミナー（無料講習会）を開催。ファイナンシャル・プランニングに対する理解を深め、資産形成に対する知識を得ることができる機会を積極的に提供しています。

3. 無料相談会の開催

金融や保険、税金など、身近な問題や不安について、実際にFPとして活躍している専門家に接してアドバイスを得られる絶好の機会として、無料相談会も実施しています。

4. ホームページの運営

日本FP協会のホームページでは、FPや日本FP協会の活動に関するさまざまな知識や情報を提供しています。また、FP資格等に関する質問にもお答えしています。

5. CFP®認定者検索システム

日本FP協会のホームページでは、相談したいFPを探す場合、地域や相談したいテーマを指定すると、条件にあったCFP®認定者が検索でき、個々の詳しいプロフィールを閲覧することが出来ます。また、氏名がわかれば、CFP®認定者、AFP認定者であるか、照会できるシステムも備えています。

6. 生活者からの質問・相談対応

どのようにしたらFPに相談できるのか、どのようにFPを利用したらよいのかといった質問や、どうしたらFPになれるのかといった問い合わせに対応。

7. 会員向けイベントの開催

日本FP協会では、年に1回、FPフェアを開催しています。全国から何千人ものFPが出席し、さまざまな講演やシンポジウムが行われるこのイベントは、トップレベルの専門家の話を聞き、最新情報に触れ、FP同士が親睦・交流を深める絶好の機会となっています。

5. スタディグループ (SG) の積極活用法

学生・社会人・専業主婦等共通の声

【最近、このような声をよく聞きます。】

「お金に関する試験対策としての机上の知識だけではなく、金融商品や社会保険・税金等、実務の知識や最新情報を習得したい。何か良い方法はないか？」

「資格を取得したのはいいけれども、どのように活用したらよいかわからない。活用するための方法やヒントを得たい。」

学生

「将来金融機関志望なので、就職に少しでも有利になるように学生のうちにAFPの資格を取得した。できれば資格取得だけでなく、学生のうちに社会人と少しでも交流し、将来のために社会人の生の声や、社会人と接点を持ちたい。」

「社会人の先輩の話を聞くと、職場に入る前と後では印象が全然違っていったという。辞めてしまった先輩もいる。もう少し学生時代に社会勉強をしていたらと悔いている先輩が多くいるので、自分は学生時代になるべく多くの社会人の方と接する機会を持ち、これからの職業の選択肢の参考にしたい。」

「今、自分自身何がしたいのかがよくわからない。社会人の方と接して自分自身の方向性を考えたい。」

「学生の枠を超えてもっと広い世界と早くから接しておきたい。」

社会人

「同じ会社の人間とつきあうだけでは、どうしても視野が狭くなってしまうため、できるだけ他の会社の方々と交流し、活きた情報を交換したい。」

「金融機関に勤務しているが、他の金融機関の動向や情報を知りたい」

「会社と家との往復だけでは息がつまりそう。気分転換とお金の勉強も兼ねて自分自身を前向きに考えたい」

本来のSGの趣旨ではありませんが中にはこんな方もおります

⇒ 「情報交換だけでなく、結婚適齢期なので、誰かいい人いないかな？」

「会社以外の友人を作りたいな」

主婦

「家計により役立つ活きた最新情報を得たい。普段は家にいるので雑誌からしか情報が得られないが、家計に役立つなにかお得な情報はないかな？」

「最近、夫の収入が減少傾向にある。子育てをしながらFP資格を活用し少しでも収入を得られるチャンスがないかな？」

「夫と会話していても最近つまらない。家計の活きた情報をどこかで得られないかな？」

独立開業を目指している社会保険労務士・税理士等

「社会保険労務士や税理士等の資格は取得したものの、独立開業するには人脈が不足していることを痛感している。ネットワークの構築になにか有効な方法はないか？」

スタディグループ（SG）は、最新情報の入手だけでなく、人脈を増やす意味や活きた情報を習得する意味でも有効な手段です。各地にスタディグループがあるので積極的に活用しましょう。

【例】日本FP協会東京支部（https://www.jafp.or.jp/tbb/?hojin_cd=913）

スタディグループの一例（一部抜粋）

SG 詳細情報（下記はほんの一例です。他にも様々なSGがありますので、ホームページでご覧下さい。）

SG名	SG THE FP21
活動地域	自由ヶ丘
承認時期	平成14年02月
代表者	峰尾 茂克
活動状況	基本的に偶数月の第2か第3火曜日（ただし、日程については流動的） 19：00～20：30 [平成21年6月以降の活動より開始時刻が18：30→19：00 開始になりましたのでご注意ください]
会費	毎回参加ごとに男性1,500円：女性1,000円：学生500円（※会員登録者は1,000円）
特徴	当SGの特徴は、実務に役立つ情報が得られるよう参加者のリクエストに応じて様々な業界の専門家等をお呼びして実務に役立つ情報が提供できるよう努めております。また、SG参加者のスキル向上に結びつくようSG参加者にもご希望があれば、SG講師の機会も提供しております。自由が丘という場所柄、様々な方が参加しやすい雰囲気のSGを目指しております。

※スタディグループを活用して、楽しく、お金の学習をしましょう！！

6. FPジャーナルの活用について

(～下記は日本FP協会ホームページより一部抜粋～)

’99年2月に創刊した本協会の会報誌『日本版FPジャーナル』は、協力関係にある米国・FPA(注)との提携により、FPAが毎月発行している『JOURNAL of Financial Planning』の日本版として毎月発行しているものです。

FP先進国である米国のFP関連情報を中心とした翻訳記事のほか、国内の情報については、各分野の専門家や学識経験者のコメントや意見、各調査機関のデータ、関連法規やFP実務に関する情報、各種セミナー案内など、会員FPの皆様に役立つ情報を適時掲載しています。

(注)FPA(Financial Planning Association)：2000年1月1日より、ICFPとIAFPが合併し発足した新組織団体

『FPジャーナル』は、日本FP協会の会報誌です。会員の皆様には月刊(毎月1日発行)でお届けしています。

7. FPフェアについて

昨年は、2010年10月23日(土)・24日(日)に開催されました。

主催：日本FP協会

会場：埼玉県さいたま市の大宮ソニックシティ

メイン講演：10月23日(土) 二宮 清純氏(スポーツジャーナリスト)

10月24日(日) 渡部 陽一氏(戦場カメラマン)

が行われ、2日間で延べ約3700人が参加されました。

テレビやマスコミで有名な著名人による基調講演・特別講演をはじめ、実務研修や様々なFPに関連するエデュケーショナル・セッションに参加することができ、毎年、基本的に数百名規模の会員交流会も開催されます。

8. 支部・ブロック活動

各支部・ブロックでは、生活者向けのセミナーやFP相談会の実施等、FP普及活動や社会貢献活動を行っております。

9. FPの無料体験相談窓口「くらしとお金のFP相談室」

日本FP協会では、生活者に対するファイナンシャル・プランナー(FP)の無料相談窓口として「くらしとお金のFP相談室」を東京都港区虎ノ門と大阪市北区堂島浜に開設しております。

10. Myページ(会員ホームページ)の活用法

FP業務に役立つ情報としてFPのための税制改正の概要をはじめ、日本FP協会からお知らせ等、日本FP協会会員ならではの情報が満載です。

オンラインで次のようなことができます。

●保険商品検索

保険商品検索では、各社の主力商品、特約、変額年金保険商品の研究ができます。検索商品は平成9年以降の各社商品で、新商品は主力とされる商品と特徴的な商品を中心に、発売時期に合わせて情報が更新され、会社別・保険種類別・発売年度別・商品別で検索ができます。

●継続教育テスト

継続教育テスト(『FPジャーナル』継続教育テスト)をオンラインで解答することができ、その場で合否結果がわかります。

●CFP®資格審査試験

CFP®試験の出願／内容の照会／変更を行うことができます。

●取得単位の記録と確認

継続教育単位の自己管理ができます。継続教育テストで取得した単位が照会できるほか、他で受講したセミナーも記録できます。

●会員登録情報の照会と変更

会員登録情報の照会と変更をする事ができます。

●メンバーズ・フォーラム

会員同士の情報交換の場として活用いただけるフォーラムです。

1 1. AFPの世界まとめ (AFP資格の投資効果を考える。)

～意外なAFP活用術～

日本FP協会や支部活動等の様々な制度を活用し、まずは自分自身のFP技能を高め、自分自身の生活を豊かにするための技法を学び、周りの人を幸せにする技能を身につけます。

【参 考 (2010 年 12 月 1 日 現 在) : AFP 認 定 者 数 149,130 人
CFP®【国際ライセンス】認定者数 17,125人】

① 主婦の方等・自分自身のためにFPを活かそうと考えている方

⇒自己投資に対する将来のリターンが受けられるか？を考えます。

【例1】30歳の主婦が保険商品の様々な選択肢から合理的な見直しができるようになると・・・

(仮定) 5000円保険料カット×12カ月×30年＝180万円カット

【例2】今まで知らなかった金融資産の運用法の選択肢の幅が広がり、これからの人生に活用できるとしたら・・・？

(仮定) 年【 円】× 年＝ 投資効果の違い

※この他、金融商品や各種税制、公的年金、社会保険関係等様々な知識を今後の人生に活かすことができます。

② 主婦の方や会社員の方で空いている時間を活用し副業やアルバイト収入を確保したい方

⇒出会いと人脈、最新知識の吸収によるブラッシュアップがポイント。

スタディグループやフォーラム等に積極的に参加し、独立系FP等と知り合いになればビジネスチャンスになることも・・・

自らホームページを開設し、メールによる個別相談も可能。

「1回あたり3000円～など」値段設定は様々。

独立系FPの中には、パート等を募集していることもあるので、空いている時間を有効活用することも可能

(仮定) 年【 円】× 月× 年＝ の違い

③ 現在、学生の方で少しでも学生のうちに社会人と接触したいと考えている方

⇒フォーラムやFPフェアも自分自身の刺激にはなりますが、太い人間関係を築くためには様々なスタディグループ(SG)に参加し、社会人と接触することがお勧め。生保・損保・銀行・証券等に勤務する社会人から活きた情報を入手できるだけでなく、活きた社会勉強をすることができます。

④ **会社員（金融機関以外）の方**

⇒同じ会社の人間とつきあうだけでは、どうしても視野が狭くなってしまうため、活きた情報を入手するためには、FPフェアやフォーラムへの参加、スタディグループの参加など積極的に様々な交流の場に参加することが必要不可欠となります。
活きた情報はこれからの自分自身の生活設計にも役立ちます。

⑤ **会社員（金融機関）の方**

⇒生保・損保・証券・銀行等の金融機関にお勤めの方にとって他の業界の動向や活きた情報は必要不可欠となります。
金融機関にお勤めの方にとって、もはやFP資格は誰が持ってもおかしくない時代ですので、他との差別化のためにスタディグループやフォーラム等の参加を通じ、常にブラッシュアップすることが、他の競争相手から取り残されない秘訣となります。

⑥ **独立系FPの方や独立系FPを目指される方・社会保険労務士や税理士等の資格を取得し、セカンドライセンスとしてFPを活用したいと考えている方**

⇒知識や能力以外に人脈は大きな武器になります。FPフェアやフォーラムへの参加、スタディグループの参加などを通じ、これから仕事をしていく上で人脈をどのように増やしていくかが鍵となります。

【最後に】・・・生きていく上で「お金」は必要不可欠ですが、「お金」に関する正しい知識を持っていないと「お金」に振りまわされてしまう可能性が高くなります。

90歳まで生存する割合は男性22.2%・女性46.4%です。

「お金」に関しての正しい知識を身につけながら生きていくかどうかにより、今後の家計の経済効果は大きく変化することでしょう。

「お金」は大切なものですが、それ以上に大切なものもあるはずですね。

「人との出会い」は自分自身の可能性を広げてくれます。

同じ資格を目指して頑張る受講生同士の絆（きずな）やS G等を通じて知り合った知人もひょっとすると「お金」以上の財産になるかもしれません！！

今年は自分自身を磨き昨年と一味違った自分にしましょう！！

MEMO